

研究区分	学部研究推進
------	--------

研究テーマ	多分野横断を基盤とした薬食研究および教育の推進				
研究組織	代表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	梅本 英司
	研究分担者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	石川 智久
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	森本 達也
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	黒川 洵子
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	轟木 堅一郎
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	眞鍋 敬
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	菅 敏幸
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	渡辺 賢二
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	浅井 章良
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	山田 浩
		所属・職名	薬学部・准教授	氏名	高橋 忠伸
		所属・職名	薬学部・准教授	氏名	ホーク・フィリップ
	発表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	梅本 英司

講演題目	多分野横断を基盤とした薬食研究および教育の推進
------	-------------------------

研究の目的、成果及び今後の展望

本学薬学部では物理学、化学、生物学など多岐にわたる基礎研究が行われ、世界的な研究成果を上げるとともに、優れた人材を輩出してきた。本申請では、健康長寿社会実現のため、創薬シーズの開発から応用研究まで一貫した統合アプローチにより、多分野横断型研究を強化した薬食研究を展開することを目的とする。また、優秀な創薬研究者およびリサーチマインドを有する臨床薬剤師を育成する国内拠点として一層の充実を図った。

具体的には以下の取り組みを行った。①疾患の発症機序の解明：細胞生物学的手法や疾患モデル動物、遺伝子改変動物を用いて、創薬標的となる生体分子の探索およびその生理学的意義を解析した（薬理学分野、分子病態学分野、生体情報分子解析学分野、生化学分野、免疫微生物学分野）。②バイオマーカーおよび創薬シーズの探索：生体標本を用いて、疾患バイオマーカーおよび標的分子の探索を行った（生体機能分子分析学）。③分子設計および分子合成：ケミカルスペースの拡充と迅速な網羅的誘導体合成を実現し、研究の高度化を行った（生薬学分野、医薬品製造科学分野、薬化学分野、医薬品創成科学分野）。④効率的スクリーニング法開発：創薬標的分子のスクリーニング（創薬探索センター）、安全性・毒性スクリーニング（衛生分子毒性学分野）、臨床研究デザイン（医薬品情報解析学）を行った。⑥グローバルな人材の育成：英語プレゼンテーションの訓練を含め、実践的な科学英語力の強化を行った。また、投稿論文の作成指導を行った（科学英語分野）。

本課題は、静岡県を目指す持続可能な健康長寿社会の実現に向けて、多分野横断を基盤とした薬食研究の観点から生命化学、健康科学の課題に取り組んだものであり、実社会への更なる応用が期待される。今後、研究対象の共通化を図るなどして、薬学部における有機的な連携体制を一層強化することが重要になると考えられる。